

基礎・基本の定着と活用力向上のために【概要】

全国学力・学習状況調査の結果及び「学校の授業づくり」と「児童生徒の家庭学習」の状況から分かる学力向上対策の概要を記載しています。

青森県教育庁学校教育課

授業づくりの状況と対策（学校質問紙調査）

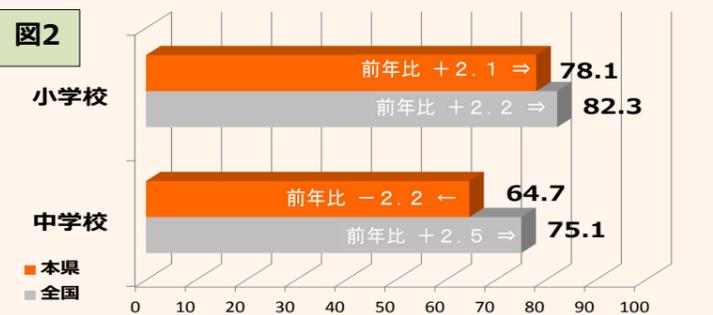
下の図1～3から分かる学校の授業づくりの状況から、**思考力、判断力、表現力の育成に向けた対策**として、次の①、②がこれまで以上に必要となります。

- ① 授業において、児童生徒自ら課題を設定し、解決に向けて話し合う活動等対話的な要素を取り入れ、自分の考えを深めたり、広げたりしながら、まとめ、表現することができるようにする。（図2）
- ② 国語や算数・数学において、日常の授業の中で、基礎・基本の定着を図った上で、児童生徒の実態を考慮して発展的な学習を取り入れる。（図3）

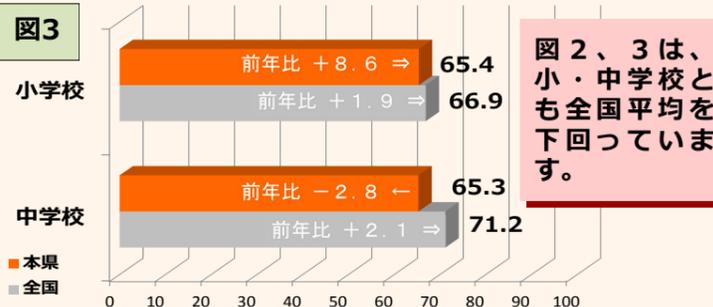
授業で扱うノートに、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書くように指導した。（%）

児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れている。（%）

算数・数学の指導として、発展的な学習の指導を行った。（%）



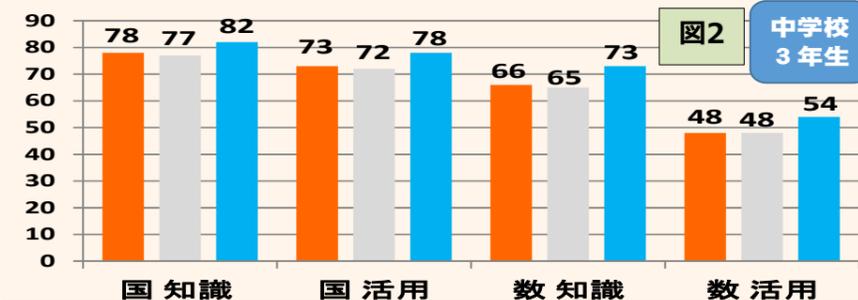
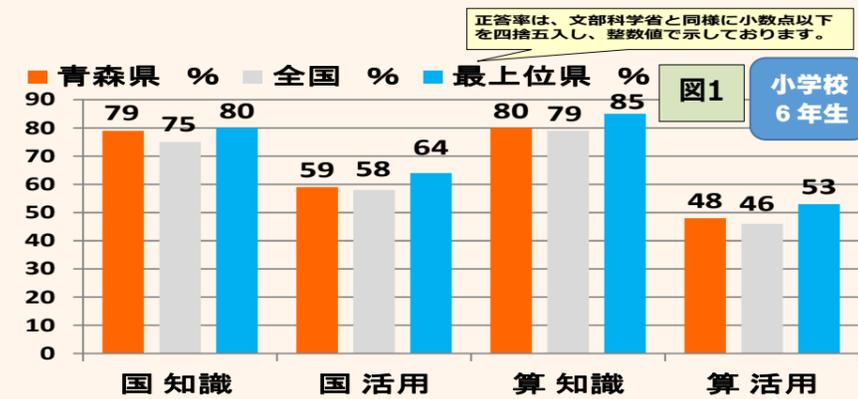
参考：質問「授業において、児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れたか」への学校の回答と平均正答率（青森県）%



学力の状況と対策（教科に関する調査）

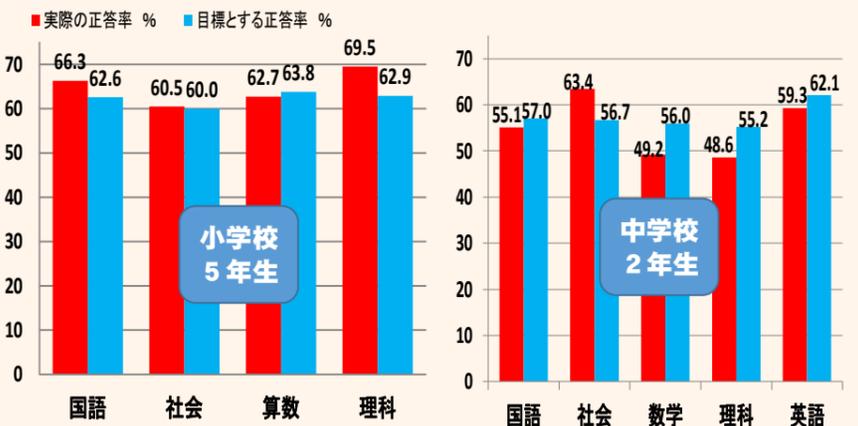
本県の平均正答率を全国や最上位県と比較すると、次の①、②が分かります。

- ① 小学校は、**全ての教科**において平均正答率が全国平均を上回っており、**国語知識**の本県と最上位県の差はわずかである。（図1）
- ② 中学校は、**全ての教科**において、平均正答率が全国平均を上回るか同程度であり、昨年度課題が見られた**国語活用**において改善傾向が見られた。（図2）



学力の状況（H28県学習状況調査から）

中学校数学及び中学校理科は、目標とする正答率に、6.6～6.8ポイントの差がありました。そのため、どの教科においても自校の分析を踏まえた早期の対応を引き続き求めておりました。（下図）



家庭学習の状況と対策（児童生徒質問紙調査）

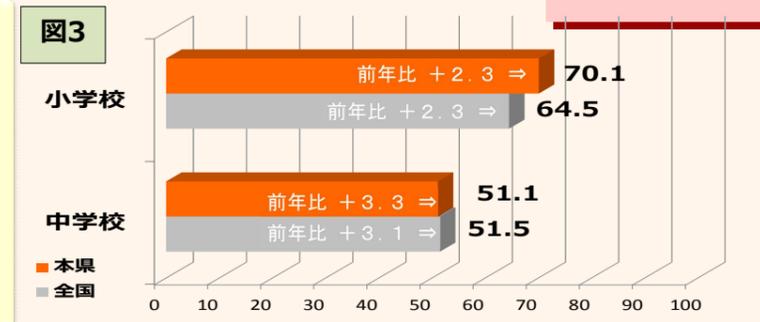
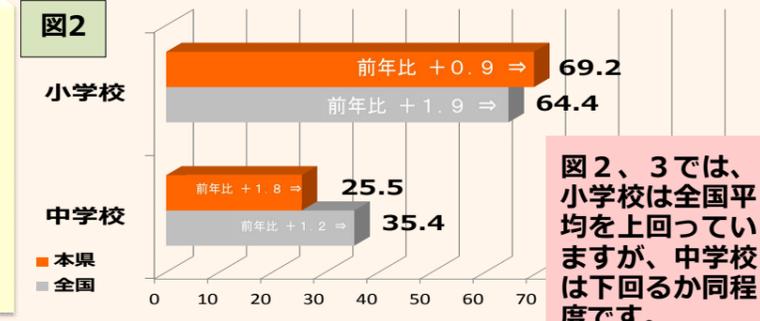
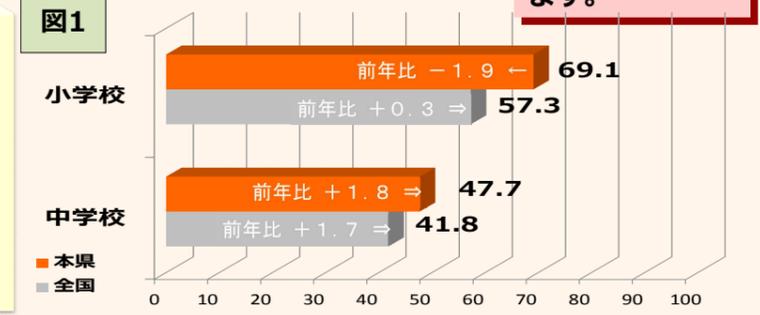
下の図1～3から分かる児童生徒の家庭学習の状況から、**家庭学習の充実に向けた対策**として、次の①、②がこれまで以上に必要となります。

- ① 家庭学習の時間を確保できるよう、児童生徒が家庭学習の方法を話し合ったりするなどして、見通しをもって家庭学習に取り組めるよう指導する。（図2）
- ② 家庭学習を計画的に行えるよう、児童生徒個々が習熟の状況に応じた家庭学習に取り組めるよう指導する。（図3）

学校が休みの日に小は1時間、中は2時間以上学習する。（%）

平日に小は1時間、中は2時間以上学習する。（%）

家で、自分で計画を立てて学習する。（%）



参考：質問「自分で計画を立てて学習している」への児童生徒の回答と平均正答率（青森県）%

